

ハイマダラノメイガ(ダイコンシンクイ)の発生に注意！

キャベツを始めとするあぶらな科野菜のハイマダラノメイガ(ダイコンシンクイ)の発生に注意しましょう。

9月上旬(泉佐野市)の巡回調査では、苗床や定植後のキャベツやブロッコリーでハイマダラノメイガの発生が確認されています(表1)。

また、羽曳野市*1の予察灯では、平年と比べ本虫の飛来成虫数がやや多くなっています(表2)。

あぶらな科野菜*2は、育苗期や定植直後の生育初期に、生長点を加害されると被害が大きくなります。特に、キャベツなど結球するあぶらな科野菜では芯止まりとなり、商品価値を失います。

そのため、育苗期や定植時などの時期に、以下の薬剤を施用するなどの対策を行い、被害を防止しましょう。

*1 (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所内

*2 あぶらな科野菜:キャベツ、はくさい、だいこん、ブロッコリー、カリフラワー、非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、しろな等)、なばな類など

(表1)被害状況(泉佐野市9月3日調査)

作物名	被害株率(%)
キャベツ (苗床)	2.0
キャベツ(セル成型苗)	0.0
キャベツ (定植後)	5.0
ブロッコリー(定植後)	7.0

(表2) 予察灯への飛来成虫数(羽曳野市)

単位:頭

月・旬	7			8		
	上	中	下	上	中	下
平成 25 年	7. 0	34. 0	16. 0	35. 0	86. 0	39. 0
5カ年平均(H20~24)	2. 6	14. 4	18. 4	19. 8	34. 4	26. 2

○対策

以下の薬剤を施用したり、耕種的防除を組み合わせ防除しましょう。

1 耕種的防除法

- ・育苗中の苗は、寒冷しゃ等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・定植には健全苗を使用し、本ぼへの幼虫の持ち込みを防ぐ。

2 薬剤による防除法

- ・育苗期のかん注、粒剤の株元散布などの処理を行う。また、定植時の株元散布・植穴処理、育苗期から定植後にかけて、水和剤等の散布処理を行う。
- ・散布は、薬液が芯葉に届くよう丁寧に散布する。

○薬剤例

- ・下記は、薬剤の例。詳細は、「農作物病害虫防除指針」を参照。

<キャベツ>

薬剤名	希釈倍数 使用量	使用 方法	使用 時期	本 剤 使用回数
プレバソンフロアブル5 ^{*6}	100 倍	かん注 ^{*3}	育苗期後半～ 定植当日	1回
	500 倍	かん注 ^{*4}		
	2,000 倍	散 布	収穫前日まで	3回以内
ジュリボフロアブル ^{*6*7}	200 倍	かん注 ^{*3}	育苗期後半～ 定植当日	1回
スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤	50～ 100 倍	かん注 ^{*5}	定植前日 ～定植時	1回
アクタラ粒剤5 ^{*7}	2g/株	株元散布	育苗期後半	1回

	2g/株	植穴処理	定植時	
モスピラン粒剤	0.5g/株	株元散布	定植前日～ 定植当日	1回
スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	散布	収穫3日前まで	3回以内
アフーム乳剤	1,000～ 2,000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
フェニックス顆粒水和剤	2,000～ 4,000倍	散布	収穫前日まで	3回以内

<ブロッコリー>

薬剤名	希釈倍数 使用量	使用方法	使用時期	本剤 使用回数
プレバソンフロアブル ^{*6}	2,000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
ジュリボフロアブル ^{*6*8}	200倍	かん注 ^{*3}	育苗期後半～ 定植当日	1回
アクタラ粒剤 ^{*8}	2g/株	株元散布	育苗期後半	1回
フェニックス顆粒水和剤	2,000～ 4,000倍	散布	収穫前日まで	2回以内
モスピラン粒剤	0.5g/株	株元散布	定植前日～ 定植当日	1回

*3 セル成型育苗トレイ1箱又はへ°ーハ°ーホ°ット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5L

*4 苗地床1㎡当り2L

*5 セル成型育苗トレイ1箱又はへ°ーハ°ーホ°ット1冊(30×60cm、使用土壌約3L)当り0.5L

*6 クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数:4回以内
(定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)

*7 チアメトキサムを含む農薬の総使用回数:4回以内
(粒剤の処理、水溶剤及び水和剤のかん注は合計1回以内、水溶剤及び液剤の散布は合計3回以内)

*8 チアメトキサムを含む農薬の総使用回数:4回以内

(粒剤の処理及び水和剤のかん注は合計1回以内、散布は3回以内)



ハイマダラノメイガ(ダイコンシンクイ)と芯葉被害

◎防除薬剤については、

- Web 版大阪府病害虫防除指針

(<http://www.jppn.ne.jp/osaka/shishin/shishin.html>)

- 農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム

(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

で確認してください。